



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第8巻第11号) 編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第8巻第11号) 編集後記・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1962, 8(11): 694-694

ISSUE DATE:

1962-11

URL:

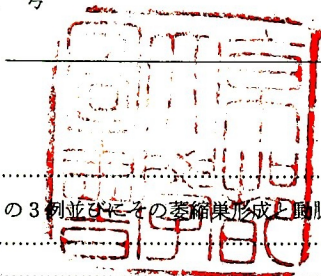
<http://hdl.handle.net/2433/112371>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 8 巻 第 11 号

昭和 37 年 11 月



随想 比島の思い出	堀尾 博	637
慢性腎結核(萎縮腎型)の3例並びにその萎縮巣形成と動脈壁の肥厚性変化について	巾 拓磨・新井 京子	639
写真膀胱鏡の使用経験	片村 永樹・田中 正躬	657
膀胱及び尿道異物症例(附 統計的観察)	北山 太一・吉田 修・田中 正躬・久世 益治・広川 栄助	663
尿管腫瘍—尿管結石を疑わせた症例	大堀 勉・昆 宰市・古谷野 誠	673
陰茎尿道瘻の1例	佐々木 茂・岡島英五郎・近藤 義雄	678
ウリガールの使用経験	近藤 厚・宮崎 重・銚石武一郎・齊藤 泰	684
泌尿器科領域における全身麻酔患者へのパリダーゼ・パッカル使用について	大熊 謙彰	688
編集後記・購読要項・投稿内規		694

Tuberculous Contracted Kidney : Presentation of Three Cases with Respect of Formation of Contracted Lesion and Changes in the Arterial Wall.	T. Haba and K. Arai	639
A Clinical Experience of Photocystoscopy.	E. Katamura and M. Tanaka	657
Foreign Body in the Bladder or Urethra.	T. Kitayama, O. Yoshida, M. Tanaka, M. Kuze and E. Hirokawa	663
Tumor of the Ureter : Report of A Case with Clinical Findings Suggesting Calculus.	T. Ohori, S. Kon and M. Koyano	673
Ein Fall der traumatischen Harnröhrenfistel des Penisteiles.	S. Sasaki, E. Okajima und Y. Kondo	678
Urigo in Urology.	A. Kondo, S. Miyazaki, B. Hokoishi and Y. Saito	684
On the Use of Varidase Buccal in Urological Patients Subjected to General Anesthesia.	Y. Ohkuma	688

京 都 大 学 医 学 部 泌 尿 器 科 学 教 室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌 尿 紀 要

Acta Urol. Jap.

編集後記

賞典トカ授賞トカ云ウ事ハ 学界ノミナラズ種々ノ方面デ広ク行ワレテオリ 例エバ ノーベル賞ヲ初メ 我國ニテハ文化勲章 ソノ他多数アリ 結構ナ事デアル。功績ニ対シテ酬イルノハ良イ事デアルシ 一般ニ対スル啓発 奨励ニモナル。唯 コレニ何カノ色ガ付イタリ 特殊ノ意図ガ加ワツタリスルノハ困ル。上ニ立ツ者ガ種々ノ授賞ヲ行イ ソレニヨツテ恩ヲ売ルヨウナ事ガアツテハナラス。近頃 医界ニ於テモ 種々ノ表彰ガ行ワレルヨウデアル。コレモ上述ノ意味ニ於テ良イ事デアルト共ニ 常ニ一面ノ危険サヲ含ンデイル事ニ注意シナケレバナラス 賞ヲ与エタ者ガソレニヨツテ ヨイ氣ニナツテハ危ナイ。



大病院ト個人医院トハ 色々ナ点ニ於テ甚ダ異ナツテイル。組織 規模 経営 機能 使命等ニ於テ 根本的トモ云エル程ノ差ガアルト思ウ 単ニ建物ノ大キサダケノ違イデハナイ。組織規模ニ於テハ 従業者ノ数ヤ職種ノ点デ雲泥ノ差ガアリ 又 一方ハ公的 他方ハ家内業的ナ性格ヲ持ツテイル。経済面ニ於テハ 病院勤務医ト開業医トハ医療報酬ノ受ケ取り方ガ異ナルコレハ大キナ相異デアル 機能 使命ニ於テハ 大病院殊ニ公的病院ニテハ 研究的ナ面ガ多ク重症患者ヲ取り扱ウ事ガ多イガ 開業医ニテハ ソレラノ点ニ主点ガ置カレテイナイ。コノヨウニ両者ノ間ニハ種々ノ大キナ差ガ實在シテイル。コノ現実ニ目ヲ蔽ワズニ ハツキリト ソレヲ注視セネバナラス ソシテ将来ノ医療制度ガ 公的機関ト私的機関トヲ含メテ ドノヨウニ進ムベキカラ考エネバナラス



専門医制度ニ関スル論議ガ 一時盛ンニ行ワレタガ イツノ間ニカ下火ニナツタヨウダ ソノ理由ハヨク知ラスガ 専門医制度ニナルト都合ガワルイヨウナ方面カラノ反対ガ出タ為メニ コノヨウナ経過ヲタツタノデハナカロウカ。然シ泌尿器科トシテハ ソノヨウナ圧力ノ有無ニ拘ラズニ 充分ニ検討シタ上デ 良イ専門医制度ヲ作り出ス事ガ 斯学ノ発展ノタメニ必要デアロウト思ウ モノ云エバ唇寒シ デ ズケヅケト云イタイ事ヲ云ウノハ損デアリ 賢イ人ハ黙ツテイルガ 私ハ敢テ馬鹿ナ役目ヲ買ツテ出テイルノデアル (昭和37年11月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200 円を前納する。1 冊料金 120 円。払込みは振替口座番号 京都4772番, 泌尿器科紀要編集部, 或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ), 住所(雑誌郵送先), 勤務先, 職地位, 自宅開業の別, 送金方法等を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説, 原著, 臨床報告, その他, 寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き, 当用漢字, 平仮名, 新仮名使いを用い, 片仮名には括弧を要しない。400 字詰原稿用紙を用いること。附表, 附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 年次。
例. 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300 語以内の欧文抄録を記し, 之には欧文の標題, 所属機関名, ローマ字著者名を付け, なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4 頁迄毎頁 600 円, それ以上の頁, フート頁, 図表, 写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈, それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし, 再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。